

令和5年度

台車梁補修＜2023 単価＞
単価契約仕様書

一般財団法人 札幌市交通事業振興公社
路面電車部 維持管理課 車両係 尾形 勝也
(電話 551-4880)

1 適用

本仕様書は、札幌市の路面電車200形、3300形の台車に使用しているブレーキ梁及び制輪子吊梁の補修に適用するものである。

2 契約期間

契約締結日から令和6年3月31日まで

3 受渡場所

札幌市中央区南21条西16丁目2-20 電車事業所

4 仕様及び予定数量

- (1) ブレーキ梁1・・・(図面1) 予定数量：2本
- (2) ブレーキ梁2・・・(図面1) 予定数量：8本
- (3) 制輪子吊梁・・・(図面2) 予定数量：16本

5 作業内容

上記4(1)～(3)のピン部(2か所)について、肉盛り溶接を行い、各図面の指示通りに削正及び、仕上げを行う。ただし、制輪子吊梁のネジ部(端部より50mm)は、作業対象外とする。

※ 肉盛り溶接について

溶接方法は、半自動溶接でCO₂溶接を行うこと。手順は、予熱(200°～250°)を行い、CO₂溶接を実施して、後熱(300°～350°、30分)を行い、保温剤を使用して徐冷すること。なお溶接棒には、「神戸製鋼製 硬化肉盛用ワイヤ DW-H250」もしくは同等品を使用すること。同等品を使用する場合は、事前に委託者と十分に協議すること。

6 その他

- (1) 搬入、搬出を行うこと。作業時は仕上げ面等に傷などを付けぬよう十分に養生をすること。
- (2) 溶接、削正において、割れ・亀裂・捲れ等に十分な注意をすること。
- (3) 作業終了後は速やかに書類を提出するとともに、委託者の確認を得ること。
- (4) 本業務に関し疑義が生じた場合は、委託者と協議し業務履行に遺漏のないようにすること。
- (5) 支払手続きは、受託者が指定された業務完了後に業務完了届を提出し、委託者が行う完了検査に合格した後に行う。また、指定した業務ごとに支払うものとする。

7 提出書類

提出書類名	提出時期	部数	備 考
業務完了届	業務完了時	1	
車軸検査成績書	〃	1	
業務工程写真	〃	1	

※ その他、委託者が必要と認めた書類

業務完了届

年 月 日

一般財団法人札幌市交通事業振興公社
理 事 長

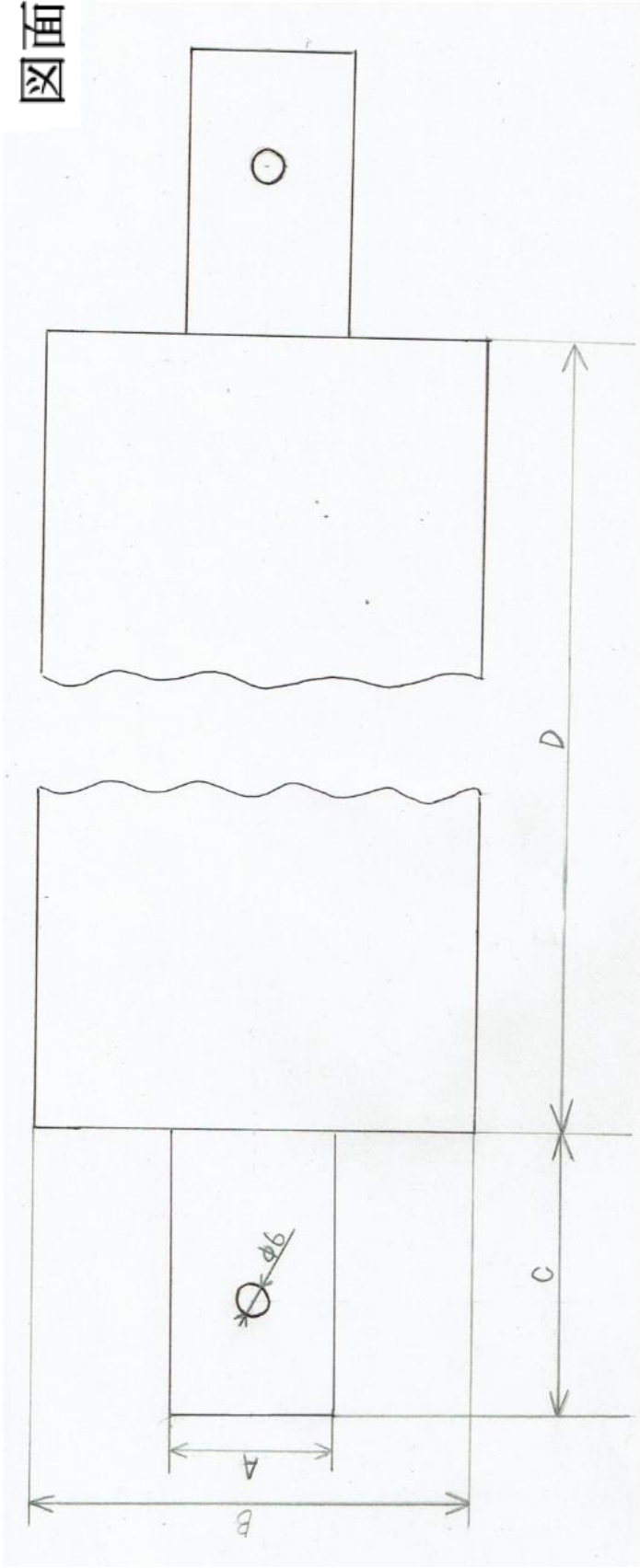
住所
受託者 会社名
代表者名 印

業務名 _____ 台車梁補修 <2023 単価> _____

上記業務は、 年 月 日に完了いたしましたのでお届けします。

受 付	年 月 日			完了を確認した職員 (氏名)	印
課長	係長	主任	係	この業務の完了検査に係る検査員に下記の者を命 じ、 年 月 日に検査を実施してよろし いでしょうか。 検査員	
課長	係長	主任	係	業務完了検査報告書	
				年 月 日	
				検査員	印
				立会人	印
上記業務の検査結果は、次のとおりであったので報告いたします。					
契 約 金 額	円 (税込)		契 約 年 月 日	年 月 日	
着 手 年 月 日	年 月 日		完 了 年 月 日	年 月 日	
検 査 年 月 日	年 月 日		検 査 結 果	<input type="checkbox"/> 合格 <input type="checkbox"/> 不合格	
備 考					

図面 1←



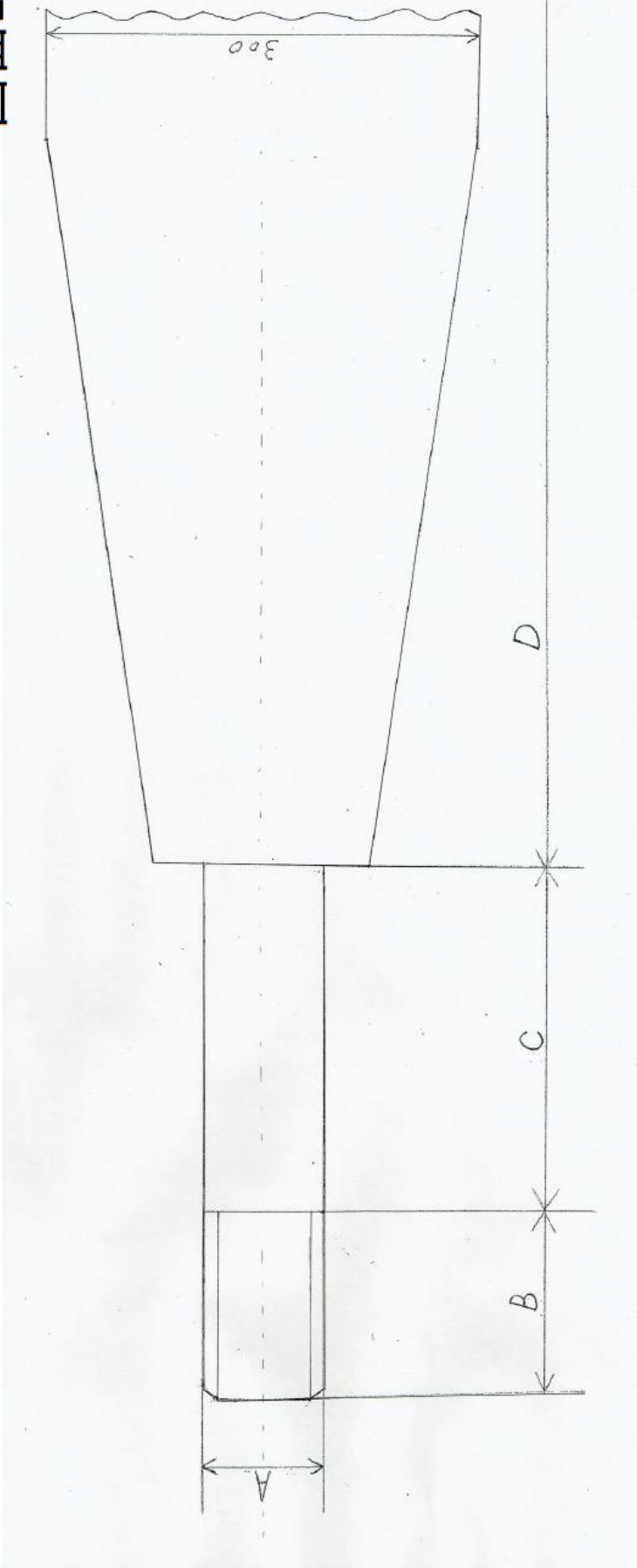
名称	ブレーキ梁1	ブレーキ梁2
A	φ 29.5	φ 23.5
B	125	100
C	50	45
D	750	720

- ※ C部=ピン部全周の肉盛り溶接を行うこと。(両端部)
仕上げ時の表面粗さ=Ra3.2 とすること。
- ※ D部=t25
- ※ φ6の穴位置は、肉盛り溶接前に測定を行い、
同位置に加工すること。

ブレーキ梁

札幌市交通局

図面2



- ※ B部=肉盛り溶接は行わないこと。
- ※ C部=ピン全周の肉盛り溶接を行うこと。(両端部)
仕上げ時の表面粗さ=Ra3.2 とすること。
- ※ D部=t25

名称	制輪子吊梁
A	φ 33.5
B	50
C	90
D	950

制輪子吊梁

札幌市交通局

積算内訳書

名 称	仕 様	単位	数量	単 価	金 額
台車梁補修	ブレーキ梁1	本	2		
台車梁補修	ブレーキ梁2	本	8		
台車梁補修	制輪子吊梁	本	16		
小 計					
消費税					
合 計					